

～千支「トリ」の企画展～

とりにてん

「2017年はトリ年！」

- 開催日時 : ～2月27日(月)まで ※期間中の毎週火曜日は休園日
- 場 所 : 到津の森公園 管理センター2階ロビー
- 展示内容 : パネル解説、ハンズオン、学習コーナーの設置
卵、羽、くちばし嘴、骨、目、足などのトリ特有の形態を紹介する。

★トラのお話 トラナンデス★

日時・期間 1・2月の土日・祝日 11:30～11:45

開催場所 「林床の世界」トラ舎前

飼育スタッフがトラについてのクイズを行います。そのクイズの中で、トラの生態や、野生での現状などを、わかりやすく説明します。

その後、エサやりもご覧いただきます。ただし、こればかりは、ミライのご機嫌によりご覧いただけない場合もございますので、あしからず。

ぜひ、ミライがご機嫌な事を願って、「トラのお話 トラナンデス」にお越しください。

天候などの都合により変更・中止することがあります。どうぞご了承下さい。
詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 2月号 2017年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」17年2月1日発行 通巻168号

☆～森のおはなし探検隊～☆

今回のテーマは、「森の美術館」です。

到津の自然を被写体にフレームを使って、自分の心の中に美術館を作ります。

心に刻んだ美術館は、世界で一つ、自分だけのものになります。
ステキな美術館を作ってくださいね。

日 時 : 2月12日(日) 13時～

開催場所 : 子どもホール 2F 集合

参加費 : 無料・事前予約不要(別途要入園料)

★ゆめある動物園プロジェクト★

「布絵本を作ろう!!」

日 時 2月19日(日) 13:00～15:00

定 員 先着順5組(1組4名様)

2月3日(金) 9:00から電話にて先着順に受付

参加費 無料(要入園料)

内 容 布類を用いて6種(チンパンジー、プレーリードッグ、ワライカワセミ、ヤギ、モルモット、ミーアキャット)の動物の親子(赤ちゃんの様子、親との顔の違い、子育ての仕方)に関する絵本を作成し、園内の解説物として管理棟2Fロビーの絵本コーナーに設置する。

森の仲間たち・里のいきもの館

いきもの館ニュース

最近、野外でカエルを見つけたことがある方は、どのくらいいらっしゃるでしょうか？カエルを見た場所ってどんなところでしたか？どんな種類のカエルでしたか？よく目にするができるのは、田んぼや池、川のまわりなどの水辺だと思えます。卵や幼生（オタマジャクシ）の時は水中で生活していますし、多くのカエルは、成体になっても水辺で生活しています。

しかし、実はそうではないカエルもいて、今回はそんなカエル用にケースを作ってみました。北九州には分布していないのですが、「モリアオガエル」というカエルをご存知でしょうか？水の上にはりだした木の枝なんかには白い泡の卵塊を産むことで有名なカエルです。名前のおり森の中で生活しているカエルで、産卵期以外にはなかなか目にする事ができないカエルでもあります。何とかケースの中で産卵してくれたらな一っと思ってますが... どーなりますことやら...

カエルが落ち着けるようにと、わざと少し見にくく作っているとありますが、探してみてくださいね！



飼育展示係 吉森 安英

花暦 如月

はたしてどこまでが空やら、いづこが山やら、灰色の模造紙を貼ったような寒空、突き抜ける青空に、小さな白い雲、こんな日も寒い二月。

それでも園内の樹々をたどり歩くと、一月に比べて明らかに内に秘めたエネルギーが弾けようとする力を感じます。

紅梅はすでに満開を過ぎ、白梅が日毎に一輪一輪と咲き始め、小鳥達を呼び、私達も香りに呼び寄せられてしまいます。

グルグル闊達に伸びたコブシの蕾もふくらみ、ミモザの黄色も鮮やか。

常緑・落葉樹共に、冬の間、大切に守っていた葉や花の芽がふくらみ始め、心なしか、サクラの枝先が紅く色づき始めてもいます。

さて、梅林から観覧車方面へ登る途中、大木が数本集まったミニニ森が見えてきました。

ヤマモモやアカマツ・ハゼノキ等と共に小さなプレートのついたクロキ（ハイノキ科）が、太陽の恵みを浴びて下枝からこんもりと茂っています。今日はこの木に会いに来ました。

北九州の山麓ではごく普通のクロキは、あまりに平凡な小高木。モチノキ科の樹木等に紛れて、見過ごされる存在です。革質の葉は長楕円形でゆるい鋸歯はまばら。見分けは簡単。細い枝にくっきりと稜（角ばった筋）が立っているからです。

寒風すさぶ今のシーズンでも、葉の付け根に黒紫色の蕾の固まりが見られ、開花は四月頃のはずが、もう数輪咲き始めています。径8ミリの花は、5分裂した白い花びらに黄色の花粉をつけた雄蕊がいっぱい。やさしい香もあって、愛らしいものです。

まだまだ残っている冬鳥たちや、冬毛の美しい動物たちに会いに来られたら、草木の息吹を感じて元気をもらって下さいね。

文：花咲くおばさん